

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
第46回公開講座

長唄の形と道

— 立誠校で今藤政太郎客員教授にきく —
いまふじまさたろう



歌舞伎とともに発達した三味線音楽「長唄」。その歴史と価値を振り返り、京都・日本の音楽文化を展望します。

今藤師は、長唄三味線の演奏と作曲の第一人者として、歌舞伎俳優、和・洋の舞踊家、演出家、映画監督等の厚い信頼を受け、多分野で繊細な感性を発揮されてきました。立誠校・銅駝校などで過ごした戦争前後の思い出、亡父で囃子方家元の四世藤舎呂船との先斗町での指導、古典の様式論、復曲への取り組みなど、貴重な芸談の数々にご期待ください。

2017.
2.12
入場料 **日**
1,000円

定員100名・要申込

午後1時00分～
午後3時00分
(午後12時30分開場)

申込方法

はがき・FAX・Eメールのいずれかの方法により、

- ① 郵便番号 ② 住所 ③ 氏名
- ④ 電話番号(FAX番号)
- ⑤ 「第46回公開講座参加希望」を明記の上、お申し込みください。

申込受付期間

平成29年
1月10日(火)～
2月9日(木)(必着)

- ※ 申込多数の場合は、抽選となります。
- ※ 定員に余裕がある場合は、当日申込も受け付けます。

申込・お問合せ

〒610-1197
京都市西京区
大枝沓掛町13-6

京都市立芸術大学
事務局 連携推進課
(事業推進担当)

Fax 075-334-2241

Eメール
public@kcua.ac.jp

会場

元立誠小学校
3階自彊室

(木屋町通蛸薬師下ル)

- ・ 阪急電車「河原町駅」
1番出口より徒歩3分
- ・ 京阪電車「祇園四条駅」
4番出口より徒歩5分

※高瀬川沿いの橋を渡って、正面入り口よりお入り下さい。
※会場に駐輪・駐車スペースはございません。ご了承ください。

出演

講師・お話
今藤政太郎

冒頭挨拶

驚田清一

コメンテーター

時田アリソン

司会・構成

竹内有一

邦楽家(長唄三味線方)
重要無形文化財保持者(人間国宝)
京都市立芸術大学客員教授

京都市立芸術大学学長

日本伝統音楽研究センター所長

日本伝統音楽研究センター准教授



『平家』から見た日本音楽の歴史

DVD (2015年11月刊 / 1,000円)

義太夫節の精華

竹本駒之助 九段目を語る

DVD (2016年6月刊 / 1,000円)

翻刻 雅楽小辞典

—南都楽家辻家田蔵(国立歴史民俗博物館蔵)—

雅楽・舞楽および関連芸能のいまとむかし共同研究会 編

A5判 (2016年3月刊 / 1,500円)

謡を楽しむ文化 —京都の謡の風景—

藤田隆則・高橋葉子・丹羽幸江 編

A5判 (2016年11月刊 / 2,000円)

『平家物語』を琵琶の伴奏で語る音楽のことを「平家」といいます。この公開講座では、「平家」の音楽を紹介するとともに、雅楽・地歌・義太夫節・山田流箏曲と「平家」との関連を探ります。

女流義太夫の人間国宝、竹本駒之助師は、2015年度京都市立芸術大学客員教授に就任されました。この公開講座では、竹本駒之助師に、大曲『仮名手本忠臣蔵』九段目切「山科隠家の段」丸一段を演奏していただきます。

奈良で雅楽を相伝した家柄である辻家が所蔵していた、五十音配列による雅楽辞典。内容は江戸期の雅楽書からの引用が中心ですが、近代的な雅楽専門辞書の先例です。
(編集員) 遠藤徹・上野正章・田銀智志(代表)・出口実紀・比嘉舞・前島美保・増田真結・三島暁子

京都の庶民の間でひろくうたわれてきた観世流の謡。その伝承の下地をつくったのは五軒家と呼ばれた家々です。五軒家のひとつ岩井家に伝えられた資料の紹介しつつ、近代の京都の謡の様子に新しい光をあてます。

既刊 ~ 好評販売中 ~

■ 書籍

三味線音楽の旋律型研究 —町田佳聲をめぐって—

山田智恵子・大久保真利子 編 資料DVD付
(2015年3月刊 / 2,000円)

近代日本における音楽・芸能の再検討Ⅱ

後藤 静夫 編 (2013年刊 / 1,300円)

歌と語りの言葉とふしの研究

藤田 隆則・上野 正章 編 (2012年刊 / 1,000円)

SPレコードレーベルに見る日蓄—日本コロムビアの歴史

大西 秀紀 編 (2011年刊 / 500円)

■ DVD・Blu-ray

雅楽 —時空をこえた出会い—

遠州の小京都 森町の舞楽×古代中世雅楽譜の解説

2015年7月刊 DVD 1,000円

演奏: 小國神社古式舞楽保存会・天宮神社十二段舞楽保存会・てんおん管絃講

西浦田楽 —伝承の現在と未来—

2014年4月刊 DVD 1,000円

長唄の美と魅力—表現を生み出す力—「越後獅子」[勸進帳]

2013年刊 DVD 1,000円 Blu-ray 1,500円 演奏・芸談: 今藤政太郎

義太夫節 稀曲の復活「播州皿屋舗 青山館の段」

2013年刊 DVD 1,000円 Blu-ray 1,500円 演奏: 豊竹鳴大夫・竹澤團七

山口県指定無形文化財 山口鷺流狂言(柿山伏)〈千鳥〉〈鬼瓦〉

2011年刊 DVD 1,000円

国指定重要無形民俗文化財 幸若舞(安宅)〈敦盛〉

2010年刊 DVD 1,000円

近代日本における音楽・芸能の再検討

後藤 静夫 編 (2010年刊 / 1,300円)

民俗芸能における神楽の諸相

吉川 周平 編 (2009年刊 / 1,300円)

日本の伝統音楽を伝える価値—教育現場と日本音楽

久保田 敏子・藤田 隆則 共編 (2008年刊 / 1,800円)

詞章本の世界—近世のうた本・浄瑠璃本の出版事情

竹内 有一 編 (2008年刊 / 700円)

祇園囃子の源流に関する研究

田井 竜一 編 (2008年刊 / 600円)

京都市立芸術大学
日本伝統音楽
研究センター

刊行物のご案内

※表示価格はすべて税込です。

ご希望の方は京都市立芸術大学にて直接ご購入頂くか、郵送(現金書留)にて、申込内容および代金と送料をご送付ください。

購入のお申込 問い合わせ先

〒610-1197

京都市西京区大枝沓掛町13-6

京都市立芸術大学
連携推進課(事業推進担当)

Tel / 075-334-2204

Fax / 075-334-2241

Email / public@kcuu.ac.jp

次回予告

日本伝統音楽研究センター 第47回公開講座
(平成28年度 第3回)

浦上玉堂と催馬楽

～江戸時代の催馬楽と『玉堂琴譜』の催馬楽復元比較～

江戸時代の文人で、画家として著名な浦上玉堂は、琴(七弦琴)を非常に愛好していました。そして、雅楽の一種「催馬楽」を琴の伴奏を付ける形で復元し、楽譜を出版しました(『玉堂琴譜』)。一方、平安時代に演奏されていた催馬楽は、中世の間に伝承が途絶えましたが、江戸時代に入って復元・研究が重ねられていました。実は現在演奏される催馬楽と江戸時代の催馬楽は、少々違ってました。江戸時代の催馬楽とは? そして玉堂はそれを知っていたのでしょうか? 本講座では、浦上玉堂の京都での活動について紹介した後、江戸時代に復曲された催馬楽の再現と、玉堂が琴歌として復曲した催馬楽の再現を試み比較します。

2017. 3.5 日

午後 2 時 00 分開演

京都市男女共同参画センター
ウィングス京都 イベント・ホール

事前申込制

詳細は別途チラシ・大学HP等でご確認ください。

大学HP

<http://www.kcuu.ac.jp/>

日本伝統音楽研究センターHP

<http://w3.kcuu.ac.jp/jtm/>